

石垣の再建

ここは、2016年の地震で崩壊した石垣の石を保管するために使われている多くの場所の一つです。ここに移される前、これらの石は崩壊現場で写真撮影されました。その後、それぞれの石は、外側の面を撮影して形を記録した上で、印がつけられました。印は3つの部分で構成され、石垣のおおよその位置を示す文字（例：本丸の「H」）、石が具体的にどの石垣で使われていたかを示す番号、石を回収した順番を示す2つ目の番号が記されています。熊本城には約980面の石垣があり、7～10万個の石を元の場所に戻す必要があります。この広場には約4000個の石が保管されています。